

日本性科学会 ニュース

第23巻第1号

平成16年(2004年)3月

発行人:野末 源一 印刷所:樹絢文社

1. 第33回 日本性科学会研修会

日時 2004年5月16日(日)

場所 東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5階講堂
東京都港区西新橋3-25-8 TEL 03-3433-1111

受講料 会員10,000円 一般15,000円 学生3,000円

プログラム

- 09:30~09:35 開会の挨拶 日本性科学会理事長 野末 源一
09:35~10:25 女性の性機能障害(身体疾患として) 国立千葉病院産婦人科医長 大川 玲子
10:25~11:05 Levitra, ED 岡山大学大学院医歯学総合研究科泌尿器病態学講師 永井 敦
11:10~12:00 診断と治療総論 あべメンタルクリニック院長 阿部 輝夫
12:00~13:30 昼休み(尚, 13:00~13:30 日本性科学会総会)
13:40~14:00 健康定義の変容と性の健康 千葉大学名誉教授 武田 敏
14:00~14:50 性の健康をどう伝えるか ―ふれいす東京の取組みから―
NPO法人 ふれいす東京代表 池上千寿子
14:50~15:10 コーヒーブレイク
15:10~16:40 グループワーク
16:40~16:50 閉会の挨拶 日本性科学会副理事長 阿部 輝夫

2. 第24回 日本性科学学会

第24回日本性科学学会/第6回性科学セミナーを下記のとおり予定しております。皆様奮って御参加下さいますようご案内申し上げます。

会期 2004年11月6日(土)午後~プレコンgres 第6回性科学セミナー
11月7日(日)第24回日本性科学学会 学術集会

場所 新潟市 朱鷺(とき)メッセ

学会長 内野 英幸(新潟県小出保健所長)

メインテーマ 「人間行動学とセクシュアリティ:性の健康を創る―生き方,育て方,学び方―」

一般演題締切 2004年7月23日(金)

400字以内の演題要旨をe-mailにて下記宛にお送り下さい。

e-mailアドレス:24th-toki@jsss.office.to

〔第24回日本性科学学会事務局〕

〒960-0181 福島県福島市宮代乳児池1-1

福島学院大学 梅宮研究室(担当:梅宮)

電話:024-553-3221 FAX:024-553-3222

学会ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~jsss24/>

ご注意)上記の通り学会事務局を設置しました。したがって、前回ニュースレターに掲載した演題等の宛先(e-mailアドレス)が変更となっています。

なお、お問い合わせは、できるだけe-mailでお願いいたします。

Vol. 23

№
1

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

拒食症治療と妊娠・出産

虎の門病院・産婦人科 堀 口 雅 子

ダイエット開始後、拒食症・体重減少性無月経となり、—35%の体重減少及びうつ状態のため精神科入院及び外来治療。その後、産婦人科にて卵巣機能回復に努め、治療開始14年後、無事妊娠・分娩にいたった例。

〔症例〕32才，主婦

初診：18歳，主訴は体重減少性無月経

経過：初経11才，以後月経は順調（150cm，42kg）。16才でダイエット開始後，拒食・体重減少性無月経になる。某医にて3～4ヶ月に1回のホルモン剤による月経誘発を行うが中止後（18才）は無月経。某精神科受診中に，26kg（標準体重の—48%）に至り当院精神科入院。退院後精神科外来通院中，無月経を主訴として婦人科併診（19才，32kg，—36%）となる。カウンセラーによると，

家族歴：父。仕事一筋，慎重派，優柔不断？（似ている？）。母。最後まできちんとしないといけない人。買い物など決断力あり，姉は似ているかも？ 姉。21才，小さいとき母べったり。本人。反抗期なく過ぎた。病気で反抗の型をとっているのか？ 入院中は，他人への気配り，幼稚性が印象的。

生活：大学時代，脅迫的受講状態（皆勤）。入院中も病院から通学。成績もよく，希望の会社に入社。真面目に働き，疲労，体重減少。更にやせ願望によるウォーキングなどの過活動も見られた。会社勤めの激しさ，真面目すぎ，適応困難から退職。その後，同じ会社のパート職員に採用され，満足のゆく勤務状態となる。ゆとりの中でテニスを始め，そこで知り合った「もっと君は家族に，思ったことを伝える努力をすべきだ」などの発言をする友人が，やがて恋人となり，31才（夫+38才）で結婚。真面目さがマイナスに働き結婚生活に破綻をきたしそうな段階で妊娠。新たな出来事に相互理解と夫の努力，協力の下，無事出産，ままならぬ母業を体験し，母の気持ちが多少理解できるとのコメントが伝わってきた。

産婦人科思春期外来：心理面の会話が可能な思春期外来（発達外来）に通院。理想体重の—70%以下では出血による体力消耗があるので月経誘発は暫らく控え，心理的サポートによる体重増加を目指す。母親の受診を求め，心理的葛藤，幼児期からの母子・同胞間の心理的問題等への理解を願った。父親へは，母親に対する理解と協力を間接的に求めた。母の不安・苛立ちも受診の中で緩和し，子供の求めていたタッチングの心地よさへの理解，食事の強制中止，同胞間の性格の差の認知・対応の配慮などがみられるようになった。体重増加の見られる頃（診療開始1年数ヶ月後，35kg，—30%）からホルモン療法開始。卵巣ホルモン+黄体ホルモンで出血（+）という状態が続く。やがて，結婚（発症後10年）を契機に，黄体ホルモンのみで出血（+），即ち，軽症の無月経に好転。3ヶ月後には自然月経発来。周期的無排卵性月経が続く。やがて自然排卵を認め（発症後13年8ヶ月），発症後約14年で自然の妊娠成立。無事正常分娩。

検査結果：体重減少の著しい頃は肝機能・アミラーゼ・リパーゼの異常あり。貧血に関して無月経期間は正常だが，月経開始後は一時期低値を示した。骨量は同年輩に比し低値であったが，食生活の改善，ホルモン療法により改善しつつある。初期の超音波検査では卵巣の成熟はない。内分泌検査では，初期は脳中枢からの，排卵に必要な黄体化ホルモンは低値。卵巣からの卵巣ホルモンは更年期同様の低値。発症後10年，下垂体の卵巣刺激ホルモン・黄体化ホルモン増加，卵巣からの卵巣ホルモンの増加，黄体ホルモンの分泌も見られるようになった。

結語：内科医が痩せにのみ注目したり，産婦人科医が全体像を捉えず月経再来のみ目指したり，精神科医が月経は体重増加により自然に再来し妊娠に支障ないとホルモン治療に関心のない事がある。痩せにも月経にも心の健康が大切なこと，長期の無月経は回復に時間のかかること，その人の豊かな思春期にホルモンが必要なことも念頭におき，相互の密な協力が必要だと痛感している。

現代のエスプリ 438 号 性の相談 健康なセックスを求めて

現代のエスプリの 438 号は、「性の相談 健康なセックスを求めて」がテーマ。編集責任が三重県立看護大学教授の川野雅資先生で執筆者にずらりと日本性科学会関係者が並んでいる。巻頭は、野末源一先生、麻生武志先生（東京医科歯科大学教授）、川野雅資先生による鼎談。性相談の諸相を広い視野から多角的に論じていて興味深い。

次にライフステージごとの性の相談。十代を北村邦夫先生が、二十代、三十代を私、針間克己が、四十代、五十代を金子和子先生が、更年期を村口喜代先生が、七十代、八十代を荒木乳根子先生が担当している。各年代ごとに、どんな性の問題があるか分かると同時に、各先生の専門分野が反映されていて、二重に面白い。

「健康障害と性の相談」では、糖尿病、心臓病、女性のライフステージ、泌尿器科疾患、不妊、HIV 感染症との関連をそれぞれの専門の先生が論じていて勉強になる。

さらに、離婚と性の相談（堀口雅子先生）、膣内射精障害（阿部輝夫先生）、性依存症（吉岡隆先生）、性同一性障害（塚田 攻先生）、ワギニズムス（大川玲子先生）、セクシュアル・ハラスメント（高畠克子先生）、性の相談と倫理（川野雅資先生）、性の健康と教育（武田 敏先生）と、それぞれ第一人者により、性の最新のトピックスが論じられている。

このように、1 冊まるごと平易に書かれた日本の最新の性科学論文集とも言うべき本であり、ぜひ一読を薦める。

会員の本の紹介

日赤医療センター 金 子 和 子

あなたと彼のメイクラブ 林田昇平 自由企画社 四六判 93 頁 2,000 円

産婦人科医師と患者のコミュニケーションを助ける目的で作られている小冊子「性と健康」シリーズを出している自由企画社の本です。このシリーズは、優しい絵がつき、女性が知りたいことを的確な言葉で品良く述べており、女性が手に取りやすいものです。この本もその流れにあります。知りたいことといえば、その第一はオーガズムでしょう。殆どのページがそれに割かれています。女性自身が自分を知るために良いばかりでなく、パートナーに読んでもらおうと大変よいものです。つまり、性交によるオーガズムのためには男性がどうすれば良いかが、具体的に書かれているのです。目から鱗の男性がきっと沢山いるでしょう。

少々残念なのは、オーガズムに関して「オーガズムは臨死の人たちの体験と良く似ている」「まさに、瀕死の状態である」等の、「失神神話」を強化するような表現が見られることです。勿論、オーガズムは個人差があるとも書いてあるのですが。また、細かい点ですが、ケーゲル体操が書かれている通りにすると、100 分くらいもかかることになってしまいます。このようにいくつか気になることはあるのですが、男女を一組としてターゲットにしたこのような本が出版されることの意義は大きいでしょう。

2004・2005 年度 日本性科学会理事選挙

この度の理事選挙（全国1ブロック）において、下記のとおり立候補の届け出がありました。

（受付け順） 野末 源一 阿部 輝夫 大川 玲子 武田 敏 山崎 高明
亀谷 謙 石河 修 廣井 正彦 村口 喜代 石津 宏

それぞれの立候補者について、立候補資格要件（5名の推薦人、入会後3年以上）をチェックし、すべて適格でありました。
また、立候補者数が定員の枠内でありますので、無投票で全員を当選者と決定しました。

2004年3月4日

日本性科学会 選挙管理委員会

委員 本多 洋 ㊤ 針間 克己 ㊤ 本郷 元夫 ㊤

注. 理事は来る5月16日の総会において選任されます。

セックス・カウンセラー セックス・セラピスト 資格認定委員会報告

認定委員会委員長 阿 部 輝 夫

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定更新規定（日本性科学会雑誌に掲載）に基づき、平成16年度資格更新が行われます。「資格更新」に関する告示を、6月発行の日本性科学会ニュースで行います。尚、更新該当者氏名（登録順）は、以下のとおりです。資格認定更新規定を熟読の上、更新希望者は、ご準備をお願い致します。また、同時に、平成16年度資格認定に関する公示も、6月発行のニュースで行います。

資格更新該当者氏名

セックス・カウンセラー	秋葉 良子	竹原 正輝	佐藤 昭雄	林 知恵子	久保 洋
	内野 英幸	江田 文雄	及川 卓		
セックス・セラピスト	秋葉 良子	永井 敦	岩佐 厚	林 知恵子	及川 卓

第2回 医師・看護師士向け：がん患者さんの性を支援するための研修会

医療現場で表面化しにくい「がん患者さんの性」について、一般医療者はどのように取り組んだらよいのでしょうか。今回は特に女性がん患者さんに焦点をあて、講義とロールプレイを組み合わせ、多忙な現場で無理なく効果的にがん患者さんの性をサポートするための基本技法を学びます。

- ・主 催 「がん患者さんの性を支援するための研修会」実行委員会
- ・日 時 2004年5月30日（日）9：00～17：00
- ・会 場 東京大学医学部教育研究棟13F第四セミナー室（東京・本郷）
- ・対 象 医師・看護師
- ・定 員 40名 参加希望者多数の場合は、グループセッションが最も効果的になるように調整させていただきます。
- ・参加費 1万円（資料代含む）
- ・締切り 2004年3月31日
- ・プログラム 1. 女性の性反応 2. がんが性に与える影響：総論 3. 各論（乳がん・婦人科がん・ストーマ保有者）
4. 基本的セックスカウンセリング技法・ロールプレイ 5. 院内の相談活動へのヒント
6. 国内の各種リソースの紹介

・申込方法

EメールかFAX。折り返し参加申込書（簡単なご職歴、受講動機などを含む）を送付。

連絡先：東京大学大学院医学系研究科健康学習・教育学分野 高橋 都

FAX 03-5684-6083 電話 03-5841-3514 E-mail miyako@m.u-tokyo.ac.jp

会費納入のお願い

4月より新しい年度（平成16年4月1日より平成17年3月31日）に入りますので、平成16年度会費15,000円の納入を、よろしくお願い致します。手数料が無料となります。学会の郵便振替用紙を同封致しますので、ご利用下さい。